

# みなみさんりく 議会だより



No. 53

令和元年 5月 16日発行

## 特集

1. 平成31年度当初予算 P2
2. 住民と議会との懇談会 P6



《表紙》4月25日に開館した生涯学習センター。子どもたちの元気な声が響く。

- ごみ袋 10月から値上げ ——— 〈議案審議〉 P 8
- 公共施設維持管理基金 ——— 〈補正予算〉 P 9
- ここが聞きたい ——— 〈一般質問〉 P10
- 議員手当は引き上げず ——— 〈議案審議〉 P18
- 高野会館に関する請願 ——— 〈特別委員会〉 P19
- 2月臨時議会・3月定例議会
- 3月臨時議会 ——— 〈議案一覧〉 P20
- 請願・陳情・決議書 ——— 〈議会へのお願い〉 P22
- 志津川高校まちづくり議会 ——— 〈議会のうごき〉 P23
- まちづくりへの提言 ——— 〈委員会報告〉 P24

平成31年度  
**当初予算**

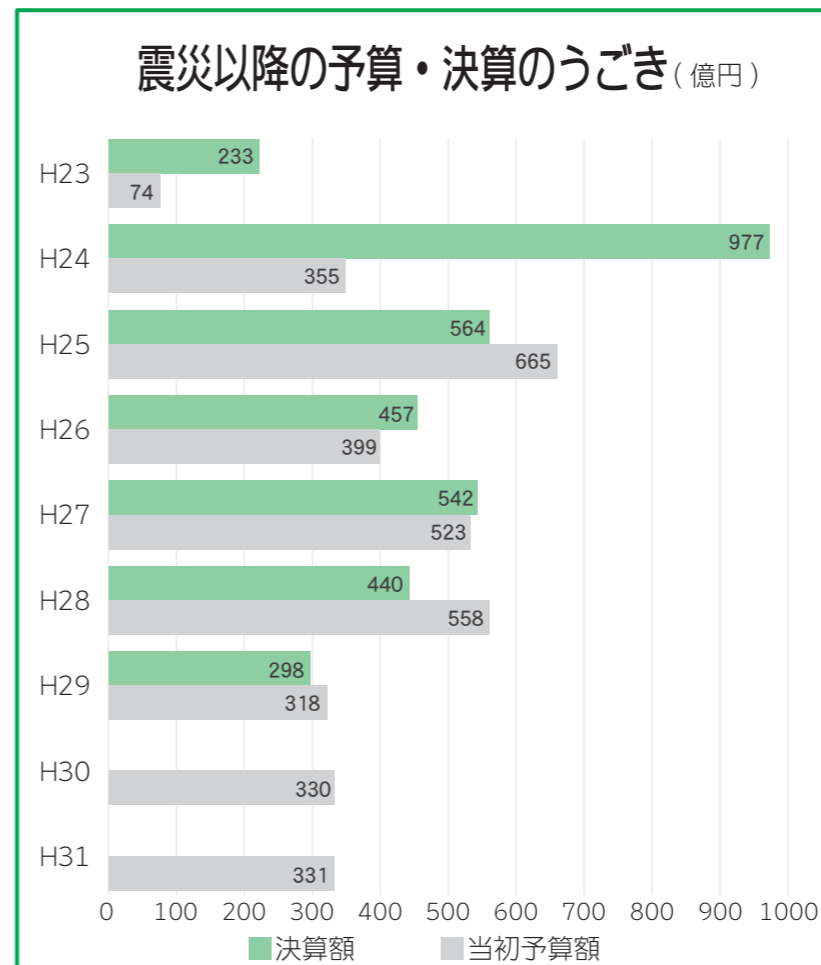
復興総仕上げに向けて  
**前年度より微増**

**議論白熱!!**

**予算案に対し  
反対討論も**

**復興事業総仕上げの加速！  
激動の時代を町民とともに切り拓くため!!**

3月定例会は5〜20日まで開催され、平成31年度当初予算審査特別委員会を設置しました。慎重な審査の結果、一般会計・特別会計とも原案どおり可決しました。



**一般会計 331億4,000万円 前年度比+0.42% (1億4,000万円)!!**

会計区分	予算額	前年度比
国民健康保険特別会計	20億3,200万円	- 8.6% (1億9,000万円)
後期高齢者医療特別会計	1億2,800万円	- 6.1% (840万円)
介護保険特別会計	16億1,900万円	+ 3.1% (4,900万円)
市場事業特別会計	3,600万円	- 7.7% (300万円)
漁業集落排水事業特別会計	1,600万円	- 72.3% (4,300万円)
公共下水道事業特別会計	2億1,600万円	- 26.0% (7,600万円)
水道事業会計	26億5,900万円	+ 53.0% (9億2,000万円)
病院事業会計	21億6,900万円	- 1.9% (4,200万円)
訪問看護ステーション事業会計	4,800万円	- 0.0% (1万円)

**可決**

すべて原案どおり

こんな事業に使われます



【スクールバス運営事業費】  
1億7,000万円

震災以降、児童生徒の安全通学のためにスクールバス運行を委託



【漁港施設災害復旧工事】98億円

防潮堤・岸壁など町管理19漁港施設整備に



【待望の公民館・図書館が  
生涯学習センターとして4月25日オープン!】  
管理費に1,900万円

・日直・夜間業務委託料500万円 ・清掃業務委託料420万円 ・光熱水費450万円 など

総括的質疑と合わせて見る  
**施政方針5つの柱**

- ①復興事業の加速化
- ②産業の振興
- ③交流人口の拡大
- ④多様なコミュニティの再構築
- ⑤ラムサール条約湿地登録の活用

**総括的質疑**

**問** (後藤伸太郎議員) 復興事業の完遂宣言を華々しく胸を張ってするためには、31年度の予算執行が極めて重要であると認識するが、

**答** あと2年の区切りの中で、ハード・ソフト事業ともに必ず成し遂げる覚悟である。

**問** (山内孝樹議員) 病院としての環境は整ったが、保つていく施策を。

**答** 医師の派遣をさせていただいている東北大学病院との関係が良好であり、常勤医師の確保が重要。

**問** (今野雄紀議員) 2年後に派遣職員はいなくなるが、町職員だけの体制づくりは。

**答** 昨年からの事業の見直しを始めている。2年間で、職員を190人としての行政サービスへの体制を築く。

**問** (千葉伸孝議員) 交流人口の拡大では、高齢化・少子化問題解決につ

くわしい質疑は次のページへ!

# 予算はどう使われるのか

## 当初予算審査特別委員会

### 《一般会計》

平成31年度  
一般会計歳入総額  
は、331億円で  
原案どおり可決

### 歳入

#### 町税

#### 震災前の水準に

**問** (及川幸子委員) 昨年よりも固定資産税分が多くなったが、課税対象の戸数が増えているのか。  
**答** 住宅再建がほぼ終了して、通常ペースに戻ってきていると感じる。また、復興関連企業の事業者の所得が増えていると思う。

#### 入湯税の使いみち

**問** (今野雄紀委員) 入湯税の使用目的は。  
**答** 入湯税は目的税として収納している。金額は、観光振興基金に積み立て、観光振興、環境衛生施設の整備充実に使用。交流拠点の整備にも充当したいと考える。

#### 地方交付税

#### 復興期間終了後の交付金は

**問** (千葉伸孝委員) 震災復興特別交付金は10年で終わるのか。これがなくなることで、町の行政運営に支障は出ないか。  
**答** あくまで復興事業であり、終われば当然なくなる仕組みのもの。

#### 町債

#### 生ごみ処理に起債

**問** (後藤伸太郎委員) 廃棄物処理事業は、借金してまでやらなければいけない状況なのか。  
**答** 処理事業は現在行っているバイオガスを精製するBIOの事業に充てる財源、過疎対策事業債を充てて運営している。この事業債を使うことによって、交付税の財政需要額として算入が可能になり、国の財源を有効活用できる。

#### 歳出

#### 総務費

ふるさと納税3500万円見込みにより、謝礼1050万円へ増額  
道の駅設計業務委託に2700万円  
都会からの移住者に支援金を支給、単身者に50万、家族連れには100万円  
町民バス運行経費、1400万円増額、7000万円に

#### 土木費

#### 入谷横断1号線の今後

**問** (佐藤正明委員) 町道整備は多くの町民に待ち望まれている。進捗は。  
**答** 横断1号線は予算に限りがある。完了までに約15年かかると思う。

#### 教育費

#### 学力向上へALT 1名増

#### 消費増税後も給食費は据え置き

**問** (後藤伸太郎委員) 台湾交流に英語交流もしくはALTの採用を検討してはどうか。  
**答** 積極的に活用すべき。採用に問題はない。

#### 商工費

**答** しいたけ栽培用施設整備が対象。パイプハウスの建築に対する補助30万円を支給

#### 民生費

歌津放課後児童クラブ整備費に1150万円。

**問** (今野雄紀委員) 放課後児童クラブの支援員の

### 《特別会計》

9議案の特別会計予算について質疑し全て可決されました。

#### 国民健康保険

#### 約3800万円減額

**問** (後藤伸太郎委員) 少子高齢化が進む中で、医療負担が増加している。当町においては国保会計全体の規模は縮小しているが、町の認識は。  
**答** 国保の被保険者数の平均年齢が51・6歳で、

#### 介護保険

#### 災害公営住宅での孤独死対策

**問** (及川幸子委員) 成年後見人制度とは。

#### 公共下水道事業

#### 安全な命の水の提供へ

#### 対策を急げ

**問** (佐藤正明委員) 入谷地区、信倉地区配水管の布設工事は、住宅が増加した中で水圧に問題はないのか。  
**答** 配水管の一部老朽化もみられ、水圧が不足する箇所もあるが、具体的に解消を図っていく。

#### 病院事業

#### 医師確保は病院の安定経営の基礎

町では医師の育英資金制度の元で、現在3名が在学。早い人材は5年目を迎え、町独自で医師の確保を目指している。

### 討論

**問** (今野雄紀委員) 常勤医師の数は。  
**答** 現在は7名体制で、今後に内科医が1名退職する。対応策として大学から協力医師1名が勤務となり、4月からの受診体制となる。

#### 賛成 (菅原辰雄委員)

細部にわたれば各委員の考えは考慮できるが、町民生活を維持すべき最低限必要な予算だと考える。

#### 反対 (千葉伸孝委員)

バイオマス都市構想や人口減少問題への施策に疑問を感じる。もつと議論すべきである。

### 可決

起立採決の結果  
賛成12人  
反対2人



スマートモビリティ

### 新たに取り組む事業

#### ●スマートモビリティ

**実証プロジェクト**  
トヨタ自動車と県との協定のもと、電気自動車の実証実験を行うもの。1〜2人乗りで、公園散策や観光コースでの使用を想定。  
……………375万円

#### ●ファブラボ推進事業

FSC材への取り組みとして、家具やおもちゃ等木工品の開発が目的。コンピューターで3Dプリンターのように木材を加工できる万能工作機を導入。  
……………500万円

#### 災害復旧費

#### ハード面のピーク過ぎる

#### 復興工事縮小傾向

**問** (後藤伸太郎委員) 中橋の形が見えず町民が不安視している。情報発信の考えは。  
**答** 夏から秋にかけて架設工事に入る予定でいる。発信可能か検討する。  
**問** (倉橋誠司委員) 志津川駅の本設は。  
**答** さんさん商店街へ隣接し、公共交通ターミナルとして整備する。



YES工房

# 議会活性化 特別委員会

## 住民と議会との懇談会

# 初 商工会の皆さまより、多くの質問が！

平成31年2月4日(月)、南三陸町役場3階会議室にて、住民と議会との懇談会を開催しました。初めての試みとして南三陸商工会の皆さまとお会いしました。「復興後のまちづくり」をテーマに事業主の方々からさまざまなご意見、ご要望を受けました。

### 産業振興

**質問①** 人材不足に悩む事業所に対して、シルバ1人材が提供できるのではないかと考えているが、

個人での対応は無理。ラムサール、ASC、FSC取得も行ったので世界に誇れる町として国を動かし自然を後世に残したい。

**回答** 町としては自らが

復興特需は終わりに近づいてきた。建設業界の方々は経済を後押ししているが、特需終了後の対策は。

**質問②** 森林環境管理システムを通じて全山管理を町で行い業者に委託することにしようかと思うが、見解は。

**回答** 森林整備は管理されない森林がほとんどで

**質問③** 復興特需は終わりに近づいてきた。建設業界の方々は経済を後押ししているが、特需終了後の対策は。

**回答** 昨年国に対し道路他様々な課題が出てくるであろうことから、手厚い支援を求めるため要望書を提出してきた。

**質問④** 外国人労働者受け入れを始めているところもある。町でも受け入れの考えを持ってほしい。

**回答** 以前に外国人労働者向け施設建設の問題が

**質問⑤** 少子高齢化が問題視されているが、人口が増えたという成功例もある。どのような施策があるか聞きたい。

**回答** 町では婚活支援事業の実施や保育料軽減、子育て支援クーポン、移住促進事業、災害公営住宅を提供している。

**質問⑥** 復興事業で、膨大な施設設備が作られる。将来維持費の確保は。

**回答** サケが戻るまでしばらく時間を要するが、道路の整備とのからみもあり、なかなか前に進まない。国からの支援も調

**質問⑦** 三陸道延伸で通過点になりうる。旅行者や住民にとって案内板の設置を。

**回答** 鎌倉市はクラウドファンディングで整備している。当局に提言したい。

**質問⑧** サケが戻ってこない。燈籠流しやかがり火祭りも復活させたい。子供たちに川遊びを伝えたい。自然に親しむ街づくりを。

**回答** サケが戻るまでしばらく時間を要するが、道路の整備とのからみもあり、なかなか前に進まない。国からの支援も調

**質問⑨** 町民運動会を行ってはどうか。地域の一体感が高まるだろう。

**回答** コミュニティの醸成には一番の効果があるというところで声も出ている。みんなで頑張っている。

**質問⑩** 利用されていない土地がある。職住分離を選択したが、条例改正をして、これらの土地を有効活用できないか。住みながら商売が出来るような改革が必要では。若い世代が移住してきて、チャレンジショップを作るにしても、住むところと店舗が離れていては大変である。

**回答** 即答は難しいので、議会でも充分議論して当局に伝えたい。

**質問⑪** 換地された結果、町有地が点在したが、

**回答** 区画整理事業として、最優先だったのがさんさん商店街エリアだった。それ以外は民間の優先となり、残ったのが低地部町有地。解決策は見つかっていない。

### 土地活用

**質問⑩** 利用されていない土地がある。職住分離を選択したが、条例改正をして、これらの土地を有効活用できないか。住みながら商売が出来るような改革が必要では。若い世代が移住してきて、チャレンジショップを作るにしても、住むところと店舗が離れていては大変である。

**質問⑫** 商工団地は公害を避けるために設立されたが、今は職住接近になった。新たな商工団地を作っては。

**回答** 議会でも協議をして当局へ持って行きたい。

### 議会

**質問⑬** 志津川高校生議会がある。今年は選挙もあり、高校3年生は18歳で選挙権もある。故郷のことを考えてもらいたい機会になるはず。子供たちの活動を後押しして頂きたい。

**回答** 議会側としては中学生議会があってもよい。名足小学校6年生の社会科見学もあった。夢を聞きたい。

**質問⑭** 町議会議員定数の削減について、何人が良いのか聞きたい。

**回答** 議員定数について、以前から委員会の中で話が出ていた。新年度の委員会の中で早い時期、4月頃に議員定数についての調査を行うと決定している。前回無競争であったことを踏まえて、何人を削減するのかからスタートとしたい。

**質問⑮** 地方議会議員は全員ボランティアでやる気がある人がやれば良いと考える。あるいは少数で町長と同額の報酬でプロフェッショナルとして活動すれば。

**回答** しっかりと受け止め、検討したい。

### まちづくり

**質問⑤** 少子高齢化が問題視されているが、人口が増えたという成功例もある。どのような施策があるか聞きたい。

**回答** 町では婚活支援事業の実施や保育料軽減、子育て支援クーポン、移住促進事業、災害公営住宅を提供している。

**質問⑦** 三陸道延伸で通過点になりうる。旅行者や住民にとって案内板の設置を。

**回答** 鎌倉市はクラウドファンディングで整備している。当局に提言したい。

**質問⑧** サケが戻ってこない。燈籠流しやかがり火祭りも復活させたい。子供たちに川遊びを伝えたい。自然に親しむ街づくりを。

**回答** サケが戻るまでしばらく時間を要するが、道路の整備とのからみもあり、なかなか前に進まない。国からの支援も調

**質問⑨** 町民運動会を行ってはどうか。地域の一体感が高まるだろう。

**回答** コミュニティの醸成には一番の効果があるというところで声も出ている。みんなで頑張っている。

**質問⑩** 利用されていない土地がある。職住分離を選択したが、条例改正をして、これらの土地を有効活用できないか。住みながら商売が出来るような改革が必要では。若い世代が移住してきて、チャレンジショップを作るにしても、住むところと店舗が離れていては大変である。

**回答** 即答は難しいので、議会でも充分議論して当局に伝えたい。

**質問⑪** 換地された結果、町有地が点在したが、

**回答** 区画整理事業として、最優先だったのがさんさん商店街エリアだった。それ以外は民間の優先となり、残ったのが低地部町有地。解決策は見つかっていない。



皆さま 貴重なご意見  
ありがとうございました！

# ごみ袋 10月から値上げ

30ℓ 1枚 20円 45ℓ 1枚 30円に

## 目的はごみの減量化

ごみ袋の値段に手数料を上乗せする。販売額から袋の製作費などを差し引くと、一枚当たり30ℓのもので5円、45ℓのもので13円が手数料として町に入る。同時に、クリーンセンターに直接持ち込まれる事業系ごみの処理手数料も値上げ。

**問** (千葉伸孝議員) 3年で1億4000万円の債務負担を設定する理由は、

**答** 予定枚数を超えた際スムーズに発注できるようにするため。

**問** (後藤伸太郎議員) すでにごみ袋を買いだめしている人もいます。

**答** 早めの周知を徹底し切り替えをおこなう。ごみ袋の交換など、経過措置も検討する。

## 討論

**反対** (千葉伸孝議員) 住民や事業者の理解は得られない。

**賛成** (星喜美男議員) 他自治体でも有料化後、総じて排出量は大きく減少しており、負担の公平化という効果もある。

**反対** (後藤伸太郎議員) 生ごみの分別収集の成果が十分出ていない中、さらなる負担増には反対。

**賛成** (菅原辰雄議員) 課題はあるが、継続的な努力を希望し賛成する。

**反対** (及川幸子議員) 説明が不十分。

**賛成** (今野雄紀議員) 大きな負担増ではない。



## 平成の森野球場 電光掲示板に!

老朽化により改修が必要だったバックスクリーンを電光掲示板に改修。9400万円。夏の甲子園予選前に完成予定。

## 討論

**反対** (今野雄紀議員) 町民の健康増進につながるスポーツの振興にお金をかけるべき。

**賛成** (後藤伸太郎議員) 町の大きなイメージアップになる。未来の子どもたちへの投資だ。



**分収林の処分、組合が直接できるように**

**問** (千葉伸孝議員) 分収林組合の数は、伐採処分の状況は。

**答** 志津川地区に79、歌津地区に30ある。年に処分されるのは1、2件。

**問** (山内孝樹議員) 分収歩合の見直しは。

**答** 今回の制度改正後の推移を見て検討する。

**人事案件**

震災後の混乱極まる時期に着任し、以来7年半、教育行政の発展に尽力。議会最終日にはその退任を惜しみ、満場からの拍手が贈られた。



教育長  
佐藤達朗氏退任



新教育長  
齊藤明氏を任命



副町長  
最知明広氏を再任

長く教育行政に携わり、今年3月までの2年間は志津川小学校の校長を務めた。残任期間を引き継ぐため、任期は11月まで。全会一致で同意。



## 防潮堤工事で大幅増額変更

●6漁港で総額12億9000万円増額

復興総仕上げに向けてハード整備事業も終盤という中、遅れている防潮堤工事において大幅な増額変更があった。

今回は、石浜、館浜、葎の浜、細浦、津の宮、藤浜の6漁港で、議会でも現地視察した(議会でよりNo.50)浮上式のフラップゲートを整備することに決定した。

## ●景観に配慮した意匠に

また、国立公園に編入されたことにより、環境省から景観に配慮するよう求められたための変更もある。全額国費での事業ではあるが、一刻も早い事業完了が求められる。



フラップゲート

**問** (今野雄紀議員) 浮上式フラップゲート設置のための予算を、当初から契約に入れられなかったのはなぜか。

**答** 原形復旧の原則があり、元々なかったものを整備するための国との協議に時間を要した。

**問** (倉橋誠司議員) 津の宮漁港では工事単価の計算間違いがあったが、他に同様の違算はないか。

**答** 現時点ではない。

## 2つの公園のオープン時期

●松原公園  
：今年5月完成  
浄水場付近を除く部分は5月に完成予定。芝の養生期間を経て、野球場などの供用を開始する。



## ●震災復興祈念公園

：今年11月一部開園  
：来年9月全体開園予定

**問** (千葉伸孝議員) 開園が遅れるという報道もあったようだが。

**答** 一部開園の時期を約一カ月後ろにずらした。約半分にあたる祈りの丘エリアを先行させる。

## 正算 補正 予算 3月定例会

## 基金の目的は将来世代の負担減

震災後の復旧事業で公共施設の建設が同時期に重なった当町では、いずれ来る大規模改修や建て替えの時期の財源を確保しておくため、基金に毎年積立をしている。

## 財源は? 積立額は?

災害公営住宅の家賃低廉化事業と低減事業の国庫補助金を財源としており、これまでの3年間で14億円の積立ができた。

**問** (今野雄紀議員) 目標額は。

**答** 約40億円と見込む。

## 復興事業の清算分、減額補正 52億6000万円

年度をまたぐ復興事業、財務管理も大変  
復興事業は完了前に財

## 病院経営は?

**問** (千葉伸孝議員) 南三陸病院で入院を受け入れられない状況があるが。

**答** 適正規模について相対的な検討をした。すぐに増床は難しい。

**問** (高橋兼次議員) 医師不足への対策は。

**答** 大学病院等と交渉中。

# 公共施設維持管理基金に 7億6800万円積立

農業政策

ブランド化による農業振興策を

町長 実証事業を行うなど積極的に取り組む



星 喜美男 議員

大への取り組みなどに、町独自の補助制度を創設して支援を進めていく。

**問** 岩手県では畑わさびで高収入を得ており、生産日本一の岩泉町では10aあたり約150万円収穫する農家もある。耕作放棄されている桑畑を活用して栽培を推進してはどうか。

**答** 遊休農地の解消には何を栽培するかがカギである。畑わさびはすべての桑の木を抜根せずとも栽培できる利点もあるの



で前向きに取り組みたい。

**問** 全国的にエディブルフラワー（食べられる花）の栽培が若者や女性を中心に増加している。外国人や幅広い年齢層に人気で、需要も高くなっている。新たな特産物として推進してはどうか。

**答** エディブルフラワーは野菜と同じで、ビタミンや食物繊維を含んでおり、さらに、いろどりが豊かなことからサラダやスイーツなどに使われて、一定のニーズが見込める。実証事業を行い、その可

能性を探っていく。

**問** 産業振興が図られると付加価値が発生し、雇用や所得、そして住民への公共サービスを提供する税が生み出される。これこそが、持続可能なまちづくりの原点である。町が深く関わって産業振興を推進すべきである。

**答** 本町でも取り組みやすい農産品目を具体的に絞り込んで示しており、新しい農業の広がりを見出せることも考えられるので、積極的に取り組んでいきたい。

# ここが聞きたい

3月定例議会では、8人の議員が15項目について一般質問を行い、各分野のさらなる復興について議論が展開されました。（一般質問の本文は、質問者の原文のとおり掲載しています。）

## 一般質問

**問** 本町の農業は、担い手不足等により遊休農地が拡大し、衰退傾向にある。ブランド化による高付加価値の農産物の生産体制を確率し、儲かる農業を推進する必要がある。入谷地区では、高品質の自給用落花生が栽培されている。国産落花生は外国産の約5倍で販売されているので、南三陸ブランドとして量産販売してはどうか。

**答** 実証事業を行い、意欲ある生産者の生産量拡



る。雨水対策として1mかさ上げをし、植樹を行い景観に配慮したい。

**問** 汐見町のように未整備の放置地域は被災市街地復興特別措置法に照らして、合法的と思うか。

**答** 法律にはできる限り早く整備しないとけいないと書かれている。何とか32年度を目標に取り組

## 積極的利用を

### 防災ヘリ

#### 町長 有効活用に資する取り組みを進める

**問** 震災から8年になる。当時は救援活動にヘリコプターがフル活動した。今後30年以内にマグニチュード7クラスの地震が起る確率が90%と言われている。備えは。

**答** 宮城県には防災ヘリが1機配備されている。消防の要請を受けて出動し、救出救助、救急搬送、空中消火等に運用される。地域防災計画によって要請基準や活動内容を進めている。この数年南三陸町での出動実績はないが、

**問** 防災訓練での離着陸はあ

**答** 平成28年から運行されてお

**問** ドクターヘリは宮城県ではあまり利用されていないが、最後の救命の支えになる。ヘリポートの整備状況は。形骸化していないか。

**答** 平成28年から運行されてお

**問** 東日本大震災対策特別委員会が高野会館周辺交通インフラ復旧整備が採択された。復旧復興の計画は。

**答** 現在は土砂が仮置きされているが、市街化ではなく自然的な土地利用を

**問** 現在土砂が仮置きされているが、市街化ではなく自然的な土地利用を

**答** 法律にはできる限り早く整備しないとけいないと書かれている。何とか32年度を目標に取り組

### 復旧復興

#### 高野会館周辺の進捗状況は

#### 町長 32年度までに植樹を行い復興を

る。雨水対策として1mかさ上げをし、植樹を行い景観に配慮したい。

**問** 汐見町のように未整備の放置地域は被災市街地復興特別措置法に照らして、合法的と思うか。

**答** 法律にはできる限り早く整備しないとけいないと書かれている。何とか32年度を目標に取り組

**問** 東日本大震災対策特別委員会が高野会館周辺交通インフラ復旧整備が採択された。復旧復興の計画は。

**答** 現在は土砂が仮置きされているが、市街化ではなく自然的な土地利用を

**問** 現在土砂が仮置きされているが、市街化ではなく自然的な土地利用を

**答** 法律にはできる限り早く整備しないとけいないと書かれている。何とか32年度を目標に取り組

### 人口問題

#### 交流人口拡大は

#### 町長 スポーツ、ラムサール活用を

**問** 町内の人口が1万3千人を下回った。交流人口の推移と目標は。

**答** 移住促進策24事業に加え、労働力確保対策、子育て等に関する施策も

**問** 移住者向けの事業の計画している。

**答** 移住者向けの事業の計画している。

**問** 移住者向けの事業の計画している。

**答** 移住者向けの事業の計画している。

**問** 移住者向けの事業の計画している。

**答** 移住者向けの事業の計画している。

**問** 移住者向けの事業の計画している。

**答** 移住者向けの事業の計画している。



倉橋 誠司 議員



防災ヘリみやぎ

### 施設整備

## 松笠屋敷の屋根を修繕せよ

町長 補助金等の活用で工事を進めていく



佐藤 雄一 議員

**問** 数年前から屋根の傷みが大分ひどくなっている。早急に修繕工事の必要性を求めますが、町としての考えは。

**答** 入谷地区のシンボリックな拠点として親しまれている施設である。伝統的な家屋活交流施設として、平成5年に町の有形文化財に指定され25年が経過し、屋根の傷みが激しいのは承知している。国・県の補助金等の活用を含め、検討している。平成28年5月にさく



修繕工事を待つ松笠屋敷の屋根

らプロジェクトとして植樹された丘に行く途中、松くい虫被害で倒れそうな木があり危険と思うが、入谷地区は、町のゲートウェイとしての意味で大事な場所でもある。周辺が荒れていけば、整備等町としても手を出さなければいけないと思う。

**問** 使用禁止になっていく遊具が以前からそのまらなくなっている。これから行楽シーズンを迎える子どもたちに、安全・安心で楽しく利用してもらうために整備が必要と思うが、町の考えは。

**答** 遊具については非常に老朽化している。ただ単に使用禁止ということではなく、ある意味思い切って撤去という形をとらざるを得ないと思う。



町づくりを二分した八幡川

### 復興事業

復興事業をもう一度検証してみても

町長 市街地復興パターンを概略的に決定した

**問** 西側は震災前、町民にとって生活利便施設が多かったところだが、なぜ町を八幡川で二分にしたのか。

**答** 国交省が被災状況、都市特性、地元の意向等に応じた市街地復興パターンを概略的に検討した。成果のもと計画した。また、市街地復興は基幹産業である水産業が拠点で、関連性が大変重要であり、将来を含め一定の土地利用が見込めることから、東側に市街地機能を集約することが最も復興に資する選択肢と判断した。

**問** 土地を所有している皆さんからご理解をいただかなければ、事業は前に進まなかった。用途変更によって所有者の土地の評価価格に影響はなかったのか。

**答** 土地についても宅地ごとに、地目並びに諸条件で評価した。

**問** 土地所有者のすべての方々は、町の説明に十分理解して承諾して印鑑を押したのか。

**答** 防集移転促進事業の元地は買い上げ条件もあつて、条件が町の示す期限内まで整った場合のみ成立した。相続等で条件が整わなければ買い取りもせず、実際には買い取り事業は終わっている。

### 分別強化

## ごみの分別・資源化で住民負担の軽減を

町長 ごみゼロ社会の構築を目指す

**問** 生ごみの収集率アップの取り組みは。

**答** 各地区での分別説明会の開催や事業所訪問で、分別の徹底による収集率の向上を図る。

**問** 資源ごみの分別強化で、ごみ袋値上げの負担軽減を。

**答** 昨年の家庭ごみ袋の有料化の説明会により、資源ごみの分別の徹底で、ごみ量の減量化につながり、使用枚数も減少している。値上げ負担分についても軽減される。

**問** 生ごみの処理場「南三陸BIO」と町の関係は。

**答** 平成27年10月にバイオマス施設として開始した。アマタ株式会社が生ごみ処理施設建設、維持管理を運営し、町は生ごみの回収と余剰汚泥の搬入をしている。

**問** 生ごみの処理場「南三陸BIO」と町の関係は。

**答** 資源ごみのリサイクルに努めると共に、ごみ処理施設と最終処分場がない本町は、これらの施設に依存しない、ごみゼロ社会の構築を目指す方向性を考えている。

### 南三陸ワカメ

## 環境保全でワカメのブランド化を

町長 ラムサール認定をブランド名に検討

**問** 今年度のワカメ生産状況は。

**答** 海水温が1〜3℃高く、必要な栄養塩の値も低く、平年をやや下回る。

**問** 対策は。

**答** 宮城県気仙沼水産試験場の情報を漁業者に提供し、注意喚起している。

**問** 町の再発防止策は。

**答** 町とまち協に謝罪し、設計の見直しを行う。

**問** 川の対応は。

**答** 河川堤防と防潮堤の構造的な境界を一致させ、各施設の管理境界を明確にする事を優先したため。

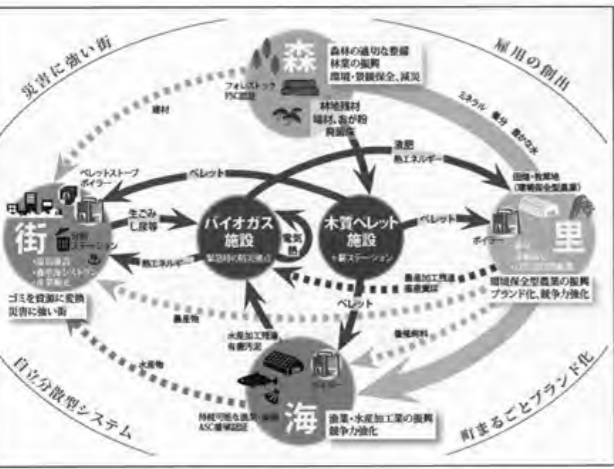
**問** 松原公園の防潮堤の設計ミスは原因は。

**答** 志津川高校生の調査干潟の今後は。

**問** 漁場管理や生産物管理、品質管理等は漁協と生産者が行ない、町はラムサール条約湿地登録というツールを活用し、他地域との差別化を図り、持続可能な漁業を推進する。

**問** 南三陸ワカメのブランド化は。

**答** 漁協がワカメのASC認定取得を検討中であり、町でもシールやタグなどオリジナルマークの作成を検討している。



資源としてゴミ・生ゴミ活用の循環型町づくり構想略図



千葉 伸孝 議員

**問** 目標に向かって努力する。

**答** 目標に向かって努力する。

## 負担軽減

### 維持費軽減を「ネーミングライツ」の導入で

町長 今後前向きに検討したい



今野 雄紀 議員

**問** 各種公共施設の維持管理、将来的な財政負担の軽減策として「ネーミングライツ」を導入する考えは。

**答** 前向きな質問として答弁したい。導入にあたっては、公共施設の持つ広告媒体としての価値を精査し、企業の特徴を生かし、今後、検討を考えている。

**問** 折念公園の年間維持費は。

**答** 約800万円程度。地元の大きなホテル

さんに、より地元貢献としてお願いしては。

**答** 可能性はある。企業に打診することもやぶさかではない。

**問** 生涯学習センターの維持管理費は。

**答** 総額で1900万円。毎年、町にご寄付をいただいている道路向かいのスーパースタジアムに、地元貢献、還元を思いを目標に見える形としてお願い

したいと思うのか。

**答** 夢みたいな話だが、私ももし企業サイドだったら、ラムサールを受けたいと思う。志津川湾全体としてなら応募したい。



目に見える形での地元還元へ



入湯税など以外にも地元貢献のお願いを



折念公園は観光には資さない

## 一般質問

## Q & A

## 環境整備

### 大型車両の通行できる道路整備を

町長 町道入谷中学校線を拡幅整備する

**問** 入谷公民館は老朽化・アスベスト対策として入谷中学校跡地に建設する認識だが。

**答** 公民館は入谷中跡地に建設する。建物については簡易の図面を示し、理解を得ている。

**問** 建設地への2系統ある進入路は狭く、交互通行しにくい。敷地西側に大型バスの通行可能な道路整備が必要と考えるが。

**答** 用地買収費・工事費も高額となり、工事期間

も長く、非常に困難であり、町道入谷中学校線を拡幅整備する。公民館は来年3月の落成式を目指し、スケジュールも決まっている。

**問** 入谷中線は2つの急カーブがあり急勾配だが、大型バスなどの通行可能な道路整備なのか。

**答** 工事用道路として整備するため、新設より各条件も緩和され、工期も短く費用も安い。勾配は問題なく、カーブも12m

以上確保するので十分通行できる。

**問** 災害時の炊事場・地域行事・伝統文化・芸能継承などの雨天時対策として、上屋建設が強く望まれるが。

**答** 上屋の規模・必要性・活用について、ワークショップなどで議論するべきだが、地域で決めたからすべて了解ではない。呑める範囲と呑めない範囲がある。

## 公共交通

### バス停から遠い人への対策は

町長 団地内でのフリー乗車区間を設定したい

**問** 町民バス運行の現状と課題は。

**答** 11路線の利用実績は、28年度が2万7千人。29年度が3万2千人。30年度が1月までの10か月で2万4千人。前年度を若干下回る見込み。29年度の収支率は10%（500万円）で、国の補助金と町の持ち出し（合計5300万円）で乗り合いバスを運行しており、町が抱える地域交通の最大の課題である。

**問** バス運行の見直しやバス停から遠い人への対策は。

**答** 必要ときに使える公共交通を目指し、枠をはみ出した白タクの考えや、入谷地区でコミュニティカーシェアリングの実証

実験を行う。フリー乗車区間を設定し、戸倉団地内で実施したい。

## 教育環境

### 児童生徒の学力は

教育長 全国学力テストで県平均

**問** 学力・体力・いじめ・不登校の現状と課題は。

**答** 学力は震災直後の大きな格差が縮まり、県平均。体力は県・全国と同

じか、やや上回る。いじめの報告はあるが、きめ細やかに寄り添い、いじめを認知し、対応している。不登校は減少せず、



町民バス

個々の理由があり、その児童・生徒への支援と、不登校を生まないための新たな取り組みを進める。

**問** 学校へのエアコン設置の考えと現状は。

**答** (町長) 国では学校の空調設備に交付金制度を創設し、これを活用して整備する。  
**問** 32年度までに全教室に整備するのか。  
**答** (町長) 32年度から全教室で使用できるが、28℃以上での使用である。



菅原 辰雄 議員



入谷中学校線

## 一般質問

## Q & A



### ごみ袋の値上げは断行するのか

町長 気仙沼市の施設老朽化もあり値上げする



後藤 伸太郎 議員

問 ごみ袋の値上げは断行するのか。  
答 住民説明会でも、正面から反対という声は聞かれなかった。町民のみなさんから一定程度の理解は得られたと思う。

問 積極的に賛成という声もないのではないか。  
答 ごみ処理にかかる経費が増大していることから、やむなし、という意見になったものだ。なぜ今、値上げする必要があるのか。

問 震災以前から検討しているのか。  
答 震災以前から検討し

てきた課題であり、今突然出てきた問題ではない。南三陸町にはごみの焼却施設がなく、気仙沼市に委託し、負担をかけている。ごみの減量化や資源化の推進は避けて通れないものと考えている。

問 具体的にごみ袋はいくらになるのか。  
答 小さい30Lのものが一枚当たり12・6円から20円に、大きい45Lのもの

が17・8円から30円になる。小売店に対しては指定袋販売店の認定をおこなない、手数料としてその額を町へ納めてもらう。袋の製造に関しては大きい方で一枚12円程度と想定しており、販売に関して

は一枚5円で委託することを考えている。

問 手数料に関しての説明がわかりづらい。このような説明で町民に本当に理解してもらえたのか疑問だ。値上げ幅については、近隣の自治体の状況に合わせたのか。  
答 近隣に合わせたわけではない。実際にかかっている経費に対しての受益者負担が20%となるように決定した。

問 ごみの資源化も同時に進める必要があるが、プラスチックごみの分別はおこなうのか。  
答 受け入れ先との調整が必要なので、今後検討を始めるという段階。

問 資源化について新しい取り組みも始めないまま、値上げが先行されるのはなぜか。  
答 気仙沼市には数十年にわたって焼却処分をお願いし、負担をかけている。施設が老朽化し、精密検査に入ることもあり、

問 資源化について新しい取り組みも始めないまま、値上げが先行されるのはなぜか。  
答 気仙沼市には数十年にわたって焼却処分をお願いし、負担をかけている。施設が老朽化し、精密検査に入ることもあり、

問 ごみの分別収集を始めたが、目標の量の23%程度である。うまくいっていない理由は何か。  
答 各地域や事業者に対して、分別の協力をもらうようお願いが足りなかったことがあると思う。地道な努力を重ねていく。

問 分別が複雑で面倒だという声もある。台所から出るごみの減量化のために生ごみの分別収集を始めたが、目標の量の23%程度である。うまくいっていない理由は何か。  
答 各地域や事業者に対して、分別の協力をもらうようお願いが足りなかったことがあると思う。地道な努力を重ねていく。



生ごみの処理施設

問 仮定の状況にまで踏み込んで議論したことはない。

問 仮定の状況にまで踏み込んで議論したことはない。

### 復興事業

### 志津川まちづくりの検証結果を問う

町長 元には戻せないが、高台で命を守る町に

問 東大名誉教授の方が志津川のまちづくり復興計画事業は『民主主義』ではないと話していたがなぜ公平に区画整理事業でやらなかったのか。  
答 八幡川を境に志津川魚市場背後にコンパクトに市街地を形成する方向だった。

問 前から国道398号と45号の関わりや、不便極まりない道路計画を指摘してきたが、まちづくり協議会の議事録を提出された。  
答 元の町の姿に戻すのではなく、高台移転を選

択して、命を失わない町を創るという事に我々は転換した。  
問 元の姿に戻らないからこそ、右岸の低地部の人たちに左岸を高く盛土したから、そこに皆移る

うと初めから入れていれば、まちづくり参加権を奪うことにはならないのではないか。なぜ折念公園の土地に5億7千万円

の計画は。  
答 60haの中、宅地約34ha、その40%は活用が定まっていない。潮騒通りと言う呼び名で整備を進めるが、32年度以降着手となる。

問 志津川漁港東西連絡

問 課税世帯にまで拡大

問 課税世帯にまで拡大



高台に動き出した商店街

### 介護環境

### 在宅で暮らす人におむつ支給を

町長 今は非課税世帯に限っている

問 介護施設に入所できず、在宅で介護生活を続けている人もいます。このような世帯にも補助施策を考えるべきではないか。  
答 平成29年度より、紙おむつ支給や訪問ヘルパー・福祉タクシー利用助成などを実施している。

問 介護施設に入所できず、在宅で介護生活を続けている人もいます。このような世帯にも補助施策を考えるべきではないか。  
答 平成29年度より、紙おむつ支給や訪問ヘルパー・福祉タクシー利用助成などを実施している。

問 介護施設に入所できず、在宅で介護生活を続けている人もいます。このような世帯にも補助施策を考えるべきではないか。  
答 平成29年度より、紙おむつ支給や訪問ヘルパー・福祉タクシー利用助成などを実施している。

問 介護施設に入所できず、在宅で介護生活を続けている人もいます。このような世帯にも補助施策を考えるべきではないか。  
答 平成29年度より、紙おむつ支給や訪問ヘルパー・福祉タクシー利用助成などを実施している。

問 介護施設に入所できず、在宅で介護生活を続けている人もいます。このような世帯にも補助施策を考えるべきではないか。  
答 平成29年度より、紙おむつ支給や訪問ヘルパー・福祉タクシー利用助成などを実施している。

問 介護施設に入所できず、在宅で介護生活を続けている人もいます。このような世帯にも補助施策を考えるべきではないか。  
答 平成29年度より、紙おむつ支給や訪問ヘルパー・福祉タクシー利用助成などを実施している。



及川 幸子 議員

### 一般質問

### Q&A

問 元の姿に戻らないからこそ、右岸の低地部の人たちに左岸を高く盛土したから、そこに皆移る

うと初めから入れていれば、まちづくり参加権を奪うことにはならないのではないか。なぜ折念公園の土地に5億7千万円

の計画は。  
答 60haの中、宅地約34ha、その40%は活用が定まっていない。潮騒通りと言う呼び名で整備を進めるが、32年度以降着手となる。

問 志津川漁港東西連絡

問 課税世帯にまで拡大

### 高野会館に関する2件の請願

# 1件は一部採択, 1件は不採択に



高野会館と解体が進む港橋

**●経緯**  
平成23年12月、高野会館は震災復興祈念公園エリア内に指定されたが、その後町は会館を含むエリアを変更。

**●請願7の1**  
高野会館周辺の交通インフラ復旧整備に関する請願書

①会館への取付道路を震災前と同じ幅員、歩道を整備し、行き止まりなくスムーズに通行できる場所を設ける。  
②当初の計画通り、会館と商業エリアを結ぶ「港橋」を生活道路として、また有事の際の避難道路として、復旧整備する。

**●請願7の2**  
参考人招致に関する請願書

先の議会、特別委員会の中で、アスベスト調査時の立入許可について町長と所有者の見解に大きな相違があった。また、町の対応についても請願者はそんなことは一切なかったと説明をした。

議案  
審議  
2月臨時会

## 職員給与改定へ 議員手当は引き上げず

町長等の期末手当改定

討論

**反対**(千葉伸孝議員)  
不適切な事務処理問題に税金が使われる状況の中で、町の財政を考え一部について反対する。

**賛成**(後藤伸太郎議員)  
人事院勧告に基づき、官民の格差を是正する必要性から賛成する。

討論

議員期末手当の改定

**反対**(及川幸子議員)  
復興もあと2年。2年後に報酬・定数の改定もあると思い、上げない。

**反対**(千葉伸孝議員)  
昨年の3月議会で全員が報酬の改正に反対し、1年もたっていない。不正請求問題も未解決の中での改定には反対する。

**反対**(後藤伸太郎議員)  
議員の報酬は働いた対価として金額が決められるべきで、他からの提案ではなく自ら決める議会であるべきであり、反対する。

**可決**  
起立採決の結果  
賛成 9人  
反対 5人

**否決**  
起立採決の結果  
賛成 5人  
反対 9人

### 消防防災施設災害復旧補助事業等調査特別委員会

## 損害額は7,700万円 損害賠償請求へ

当該職員に  
1900万円の  
賠償請求

2月5日、顧問弁護士による意見書提出を受け、当局より聞き取り調査をおこなった。

意見書では、過去の最高裁判例が挙げられ、損害額の4分の1が妥当と示されていた。また、町税で補填することへの町民感情は理解できるとしながらも、屯所整備により還元されているという内容であった。最後に、ならら利得を得ていない個人への請求としては酷に感じるとも記されていた。

**問**(後藤伸太郎委員) いくら請求するのか。  
**答** 最大限度額を考えている。

**問**(倉橋誠司委員) 当該職員との面談はあったのか。  
**答** 当局が2度、弁護士

**問**(千葉伸孝委員) 制度自体はしっかりしている。通常の手続きをしていけば、問題は発生しなかった。  
**問**(及川幸子委員) 申請書と実績報告の開示請求をしたいと考えるが。  
**答** 書類の不備にもかかわらず、交付に至ったのは、復興事業の特殊性にある。当町の申請が遅れば、他市町村の申請に迷惑が掛かった。



これからの動き  
当委員会としては、法的根拠はあるとしながらも、考え方としては全てではないと解し、調査を進めてきた。

今回の調査により、町としては、意見書を参考に民事請求する考えであることを再度確認できた。質疑の中で、当局に対し資料請求したことにより、3月13日の調査までの進捗は見られなかったが、当該職員の心情に配慮し早期解決が望ましいという意見を添えるかたちになった。賠償額、賠償時期など当局の判断を待つ形になるが、今後の進捗を見定め、引き続き調査していく。

討論

**賛成**(千葉伸孝委員)  
観光客が多い観光場所を確保するのは必要であり、周辺を原形復旧すべき。

**一部採択**  
起立採決の結果  
賛成 8人  
反対 6人

※港橋の解体はすでに決定しているため、②については、不採択

**【請願7の2について】**  
**問**(及川幸子委員) 昨年3月6日以降、アスベストの報道があり、大きなマイナスになったと思うが。  
**答**(倉橋誠司委員) 町民の方々はかなりの衝撃を受けたと思う。

**問**(千葉伸孝委員) 町長の答弁に対して、ホテル・会館側はどのような

討論

**反対**(後藤伸太郎委員)  
先の展開を考えた場合、町の権限、議会の権限事項に属することであるかという点が疑問視されることから、不採択とすべきと考える。

**賛成**(及川幸子委員)  
大きく言えば議会軽視にもなるような問題。両方から話を聞いて各々判断する。招致して聞くことが大事。

**不採択**  
起立採決の結果  
賛成 6人  
反対 8人

議案第38号	予算	平成30年度一般会計補正予算(第6号)。→P.9
議案第39号	予算	平成30年度国民健康保険特別会計補正予算(第2号)。
議案第40号	予算	平成30年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)。
議案第41号	予算	平成30年度介護保険特別会計補正予算(第2号)。
議案第42号	予算	平成30年度市場事業特別会計補正予算(第1号)。
議案第43号	予算	平成30年度漁業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)。
議案第44号	予算	平成30年度公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)。
議案第45号	予算	平成30年度水道事業会計補正予算(第4号)。
議案第46号	予算	平成30年度病院事業会計補正予算(第2号)。
議案第47号	予算	平成31年度一般会計予算。→P.2~5
議案第48号	予算	平成31年度国民健康保険特別会計予算。
議案第49号	予算	平成31年度後期高齢者医療特別会計予算。
議案第50号	予算	平成31年度介護保険特別会計予算。
議案第51号	予算	平成31年度市場事業特別会計予算。
議案第52号	予算	平成31年度漁業集落排水事業特別会計予算。
議案第53号	予算	平成31年度公共下水道事業特別会計予算。
議案第54号	予算	平成31年度水道事業会計予算。
議案第55号	予算	平成31年度病院事業会計予算。
議案第56号	予算	平成31年度訪問看護ステーション事業会計予算。
議案第57号	工事	町道竹下線外道路災害復旧工事を(株)田名部組と7,560万円で契約締結。工期平成31年3月まで。
議案第58号	工事	西戸橋橋梁災害復旧工事を(株)阿部伊組と2億4,840万円で契約締結。工期平成33年3月まで。
議案第59号	工事	野球場改修工事をNECネットスアイ(株)東北支店と9,385万円で契約締結。工期平成31年7月まで。→P.9
発議第1号	発議	三陸沿岸道路整備促進特別委員会廃止にかかる決議について。→P.24

3月臨時議会 議案一覧 2件

(財産1件、補正予算1件)

議案第60号	財産	町道路線(蒲の沢6号線)の認定。
議案第61号	予算	平成30年度一般会計補正予算(第7号)。

2月臨時議会・3月定例議会採決状況一覧

議案名	議員名	議決結果	賛成	反対	採決結果															
					須藤清孝	倉橋誠司	佐藤雄一	千葉伸孝	後藤伸太郎	佐藤正明	及川幸子	村岡賢一	今野雄紀	高橋兼次	星喜美男	菅原辰雄	山内孝樹	後藤清喜	山内昇一	三浦清人
議案第2号		原案可決	9	5	○	○	×	×	○	○	×	○	×	○	○	○	○	×	欠	○
議案第3号		否決	5	9	○	×	×	×	×	×	○	×	×	○	○	○	×	欠	○	
議案第16号		原案可決	10	5	×	×	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第34号		同意	11	4	無記名投票															
議案第59号		原案可決	13	2	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	

※採決結果欄：(○)は賛成、(×)は反対。議長は表決に加わりません。賛否同数の場合、裁決します。無記名の場合、個人の賛否は表示しません。

当初予算審査特別委員会採決状況一覧

議案名	議員名	議決結果	賛成	反対	採決結果														
					須藤清孝	倉橋誠司	佐藤雄一	千葉伸孝	後藤伸太郎	佐藤正明	及川幸子	村岡賢一	今野雄紀	高橋兼次	星喜美男	菅原辰雄	山内孝樹	後藤清喜	山内昇一
議案第47号		原案可決	12	2	○	○	○	×	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○

※採決結果欄：(○)は賛成、(×)は反対。議長及び委員長は表決に加わりません。賛否同数の場合、裁決します。

2月臨時議会 議案一覧 4件

(条例3件、予算1件)

議案第1号	条例	一般職の任期付研究員の採用並びに給与及び勤務時間の特例に関する条例改正。
議案第2号	条例	特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例改正。→P.18
議案第3号	条例	議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例改正。→P.18
議案第4号	予算	平成30年度南三陸町一般会計補正予算(第5号)。

3月定例議会 議案一覧 56件

(条例14件、工事17件、賠償1件、人事4件、予算19件、発議1件)

議案第5号	条例	職員の勤務時間、休暇等に関する条例改正。
議案第6号	条例	職員の給与に関する条例改正。
議案第7号	条例	特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例改正。
議案第8号	条例	特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例改正。
議案第9号	条例	町立学校の設置に関する条例改正。
議案第10号	条例	災害弔慰金の支給等に関する条例改正。
議案第11号	条例	公民館条例の改正。
議案第12号	条例	分収林設定条例の改正。→P.9
議案第13号	条例	都市公園条例の改正。
議案第14号	条例	廃棄物の処理及び清掃に関する条例等の改正。
議案第15号	条例	水道事業の布設工事監督者及び水道技術管理者に関する条例改正。
議案第16号	条例	廃棄物の処理及び清掃に関する条例改正。→P.8
議案第17号	条例	町税条例等の改正。
議案第18号	条例	石泉活性化センター等設置及び管理条例を廃止する条例制定。
議案第19号	工事	町道蒲の沢2号線ほか1路線道路改良工事を(株)高野組と9,288万円で契約締結。工期平成31年3月まで。
議案第20号	工事	寄木橋及び寄木線外2路線道路災害復旧工事を(株)阿部伊組と2億4,847万円減額し、6億3,280万円で変更契約締結。工期平成31年3月まで。
議案第21号	工事	町道平磯線ほか1路線道路改良工事を(株)遠藤組と4,381万円減額し、1億2,453万円で変更契約締結。工期平成31年3月まで。
議案第22号	工事	町道蒲の沢2号線ほか1路線道路改良工事を(株)高野組と1,706万円減額し、6,231万円で変更契約締結。工期平成31年3月まで。
議案第23号	工事	志津川地区震災復興記念公園北側道路災害復旧工事を阿部藤建設(株)と2,326万円減額し、9,229万円で変更契約締結。工期平成31年3月まで。
議案第24号	工事	石浜漁港海岸防潮堤設置等工事を(株)阿部伊組と4億2,688万円増額し、8億3,296万円で変更契約締結。工期平成31年12月まで。
議案第25号	工事	館浜漁港海岸防潮堤設置等工事を山庄建設(株)と1億6,850万円増額し、5億5,730万円で変更契約締結。工期平成31年12月まで。
議案第26号	工事	葦浜漁港海岸防潮堤災害復旧等工事を阿部伊・山庄特定建設工事共同企業体と1億9,700万円増額し、20億6,540万円で変更契約締結。工期平成32年12月まで。
議案第27号	工事	細浦漁港海岸防潮堤災害復旧等工事を渡辺土建・佐千代組特定建設工事共同企業体と3億1,587万円増額し、31億5,627万円で変更契約締結。工期平成32年12月まで。
議案第28号	工事	津ノ宮漁港海岸防潮堤災害復旧等工事を只野建設・須藤建設特定建設工事共同企業体と1億2,058万円増額し、6億4,654万円で変更契約締結。工期平成31年12月まで。
議案第29号	工事	藤浜漁港防潮堤設置工事をサトー・須藤特定建設工事共同企業体と6,236万円増額し、4億6,628万円で変更契約締結。工期平成31年12月まで。
議案第30号	工事	塩入地区護岸等工事を(株)佐藤工務店と877万円減額し、3億4,222万円で変更契約締結。工期平成31年3月まで。
議案第31号	工事	松原公園災害復旧工事をむつみ造園土木(株)仙台支店と909万円増額し、2億8,773万円で変更契約締結。工期平成31年3月まで。
議案第32号	工事	二級河川新井田川水系新井田川河川整備事業に係る業務をUR都市再生機構と8,811万円減額し、10億1,057万円で業務委託変更契約締結。期間平成31年3月まで。
議案第33号	賠償	損害賠償の額を決定し、13万5,000円で和解。職員の公用車による事故。
議案第34号	人事	副町長の選任。任期満了に伴い、最知明広氏を再任。→P.9
議案第35号	人事	監査委員の選任。任期満了に伴い、芳賀長恒氏を再任。
議案第36号	人事	教育委員会教育長の任命。齊藤明氏を任命。→P.9
議案第37号	人事	人権擁護委員の任期満了に伴い、山田みえ子氏を推薦。



## 名足小学校社会科見学 地方議会の役割を学びました！

平成31年1月30日、名足小学校6年生の皆さんが社会科授業の一環で、議場見学に来ました。議場内で町の議会の役割について学び、皆さんからの鋭い質問に議長が答えました。



## 志津川高校まちづくり議会 町に対して提案をしました！

平成31年2月15日、志津川高校2年生15名が教育・産業・観光の3つの分野に分かれて、自分たちのまちづくりに対する思いを発表しました。

# 議会へのお願い

## 請 願 書

### 東日本大震災対策特別委員会に付託していた請願の審査結果

受理番号	付託年月日	件 名	委員会の審査結果	委員会の意見
請願7の1	平成30年 12月11日	高野会館周辺の交通インフラ復旧整備に関する請願書	一部採択とすべきもの	請願趣旨の①道路整備に係る項目についてのみ採択とする
請願7の2	平成30年 12月11日	東日本大震災対策特別委員会参考人招致に関する請願書	不採択とすべきもの	なし

本会議において、請願7の1は一部採択、7の2は不採択となりました。

## 陳情書・決議書

1. 全国知事会の「米軍基地負担に関する提言」の趣旨に基づいて、地方自治の根幹を脅かす日米地位協定の見直しを国に求める意見書を提出することを求める陳情書  
日米地位協定を見直す会
2. 宮城県に対し、小・中学校全学年で少人数学級実現等を要請する意見書採択を求める陳情書  
ゆきとどいた教育をすすめる宮城県連絡会
3. 奥山等のスギ・ヒノキ放置人工林を、森林環境譲与税（仮称）で順次計画的に皆伐を進め、天然林に戻すことを求める陳情書  
一般財団法人 日本熊森協会
4. 「辺野古新基地建設が、沖縄県民にのみ過重な負担を強い、その尊厳を踏みにじるものであることに鑑み、解決に向けた主体的な取り組みを日本国民全体に呼びかけるとともに、政府に対し、沖縄県民の民意を尊重することを求める決議」  
沖縄弁護士会

上記4件の陳情書・決議書は、議員に配布しました。

## 産業建設 常任委員会

# 農業振興について

平成31年2月6日、圃場整備地区の生産状況について、町農林水産課職員から聞き取り調査を行った。

### 調査の概要

耕作条件がかんばしくなく、各工区とも石礫除去や土壌改良、排水性の向上といった補完工事が一部行われていた。各生産組合が使命と責任感を持って創意工夫のもと、水稲作付けを行った結果、工区ごとにばらつきが

あるものの、収穫量はおおむね安定してきたと確認ができた。また、ネギ等の作付けも行われており、多様性も帯びてきた。しかしながら、水稲では部分的にノビエやいもち病の発生、農業機械が利用できないための直播きによる浮稲の場所も見られた。台風による暴風越波塩害と

### 調査の結果

いった課題への対応もされ、各生産組合とも定期的に会合などを行い、積極的に情報交換が行われていることも確認できた。

沿岸地域では、いずれも大震災により壊滅的な被害を受けた。当町においても、同様に困難な課題に直面した。多額の災害復旧費を投入しての圃場整備であるため、将来的にも有効的な圃場の活用が望まれる。今後は、多様な作目の生産にも目を向け、専門機関との情報交換などの連

携を強固にしていかなければならない。また、環境変化や天災にも対応できる仕組みづくりと、若者が参入しやすい状況を構築することが必要である。

当町の農業振興に重要な役割を担う圃場整備区域の確実かつ早急な補完工事の実施と、未来へ向けての後継者の育成にも期待し、結びとする。

## 総務 常任委員会

# 独自性ある人口減対策を

平成31年2月26日、今年度の当町における人口減少対策事業の実施状況について、企画課職員から聞き取り調査をおこなった。

### 調査の概要

空き家バンク制度や移住者向け家賃補助、公営住宅の一般開放および住宅取得時の経済的支援などの、住まいに関する取り組みは今年度も継続的におこなわれており、一定の実績が上が

っている。また今年度は、結婚活動支援事業に新規事業として取り組み、町内在住者、在勤者の参加があった。

これらを検証し、独自性のあるものになるようさらに磨きをかけていくためにも、引き続き調査を継続する。

### 調査の結果

## 議会広報 特別委員会

平成31年2月12日、岩手県金ヶ崎町議会を訪問し、議会だよりの作成について金ヶ崎町議会広報常任委員会の取り組みを視察し、委員と意見交換をおこなった。

金ヶ崎町議会広報は、定例議会の翌月第1週に毎戸配布される。そのスピード発行のために編集工程において、台割表やレイアウト表の使用、表紙写真のシリーズ化など、議長の強いリーダーシップのもと多くの工夫がなされ、訴求力の高い、大胆な紙面構成に毎回挑戦している。

また、議会傍聴に来やすくなるよう、お知らせ版を作成・回覧し、定例議会の大まかな日程を周知している。

今回視察した内容を積極的に取り入れ、今後の広報・広聴活動に役立てていく。

## 民生教育 常任委員会

# 医療体制・環境の充実を

平成31年1月22日・2月7日・19日、南三陸町役場3階会議室・議員控室及び南三陸病院会議室において、医療環境・南三陸病院の現状について調査した。

### 調査の目的

喫緊の課題である人口減少及び少子高齢化の進展といった課

題に取り組むべく、子育て支援や移住・定住人口の拡大に向けた各種事業、産業振興のための施策を展開している。

住民が元気に安心して暮らせる環境、移住者が安心して子育てできる環境づくりが必要である。中でも医療環境の充実が重要であると考え、近年顕著化している医師の偏在や自治体病院の慢性的な問題である不採算経営といった課題を解消し、維持可能な医療環境の構築について検討するため、調査を行う。

### 調査の結果

南三陸病院のあり方を検討するため、現状における課題等を整理したのち、聞き取り調査を行い、経営状況や医療の提供体制、改革プランによる今後の経営方針のほか、現状の課題などについて確認した。

人口構造形態に合わせた医療サービスの在り方、財政負担を軽減するための効率的な経営方法など検討を重ねる必要があり、調査を継続する。

## 三陸沿岸道路 整備促進特別委員会

# 廃止することに決定しました

平成31年3月13日、役場3階会議室において、三陸沿岸道路整備促進特別委員会の今後について調査した。

### 廃止に至る経緯

これまで、南三陸町内における三陸沿岸道路の整備を推進するため、平成18年から特別委員会として設置し継続して調査

や政府への要望活動等を行ってきた当委員会であるが、平成31年2月16日（土）に歌津北インターチェンジまでが開通し、町内全区間の整備が完了したことから、その活動の幕を閉じることとなった。

反対の意見も出たがこれからも近隣自治体とは連携していくことを確認

特別委員会廃止についての協議では、三陸沿岸道路の延伸に

よるストロー現象を懸念し、継続して調査するべきといった意見もあったが、当初の目的である南三陸町内での整備が完了したことから廃止すべきとの意見が多く、廃止の決議を3月定例会に上程し、可決された。

今後、三陸沿岸道路がもたらす当町への影響などについては、必要に応じて新たな特別委員会を設置し、調査することとなった。

# わたしの意見 あなたの提言

皆さんの考えをお聞かせください。  
投稿お待ちしております!! (400字程度)

## 「南三陸の自然を遺していく」



志津川 菅原 優紀 さん

私たちの南三陸は、海と山に囲まれた自然豊かな地域です。しかし、その自然が今、少しずつ変わってきてしまっていると感じます。

災害公営住宅や団地が増え、ここ数年で南三陸町はとても住みやすい町になってきました。アップルタウンやさんさん商店街、コンビニも増えてきました。

それらを見ると復興もようやくここまで進んできたことを実感します。

しかし、復興工事で新しくできたものもあれば、失ったものもあるのではないかと思っています。

震災前に比べるとシカヤクマが、多く人里に現れるようになったのも、住みかであった山を私たちが拓いて住宅を建てたのが原因なのではない

かと考えてしまいます。復興をする上で新しく土地を作るのはしかたのないことだと思いますが、少しでも自然への負担が少ない工事の方法を考えて欲しいと考えてしまいます。この南三陸の自然を次の世代へと遺していくためにも。

### 議会から

震災後の復興のかたちを、しっかりと見てくださっていますね。

ありがとうございます。菅原さんをはじめとする、若い世代が抱く想いを共有しながらこれからも努めてまいります。



## 山内孝樹議員が表彰



平成31年2月6日、山内孝樹議員が地方自治の振興に寄与した長年の功績が称えられ、全国町村議会議長会自治功労者表彰を受けました。

## みなさん傍聴に来てください!

次回の議会は6月定例会を予定しております。

ぜひ、お気軽にお越しください。

パソコン・スマホでもご覧になれます。

「南三陸町 議会中継」で検索♪

※過去の議会映像も見ることができます。

## 編集後記

令和元年となつて、初めての議会だよりです。今回から編集作業を一部改善して、より読みやすくなりやすい紙面構成を目指しました。新しい時代の幕開けにふさわしいものになっているでしょうか。

この春も、町内各学校の入学式に参加させていただきました。期待と不安の入り混じった表情で式典に臨む彼らに、前途洋々たれと言祝ぎをいたしますが、並ぶ椅子の数は年々減り、一抹の寂しさを禁じ得ません。

新しい時代に生きる子どもたちに、安全で暮らしやすい町を作るため、議会も復興完遂、人口減対策に全力で臨みます。令和の代も、おらほの町の議会にご注目ください。

委員長 後藤伸太郎

議会広報特別委員会

委員長 後藤伸太郎

副委員長 須藤 清孝

委員 倉橋 誠司

委員 佐藤 雄一

委員 千葉 伸孝

委員 菅原 辰雄